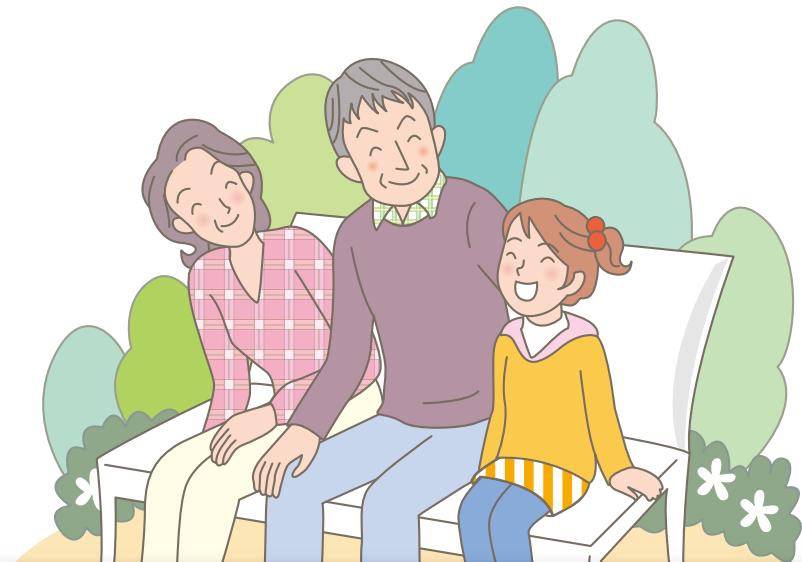


じょうみやくけっせんそくせんしょう
**静脈血栓塞栓症のために
エリキュース錠を
服用される患者さんへ**

監修

山王病院・山王メディカルセンター
血管病センター センター長

宮田 哲郎 先生



医療機関名(連絡先)



Bristol-Myers Squibb



EQ/15-11/0722/17-10
ELQ57G001A
2015年12月作成

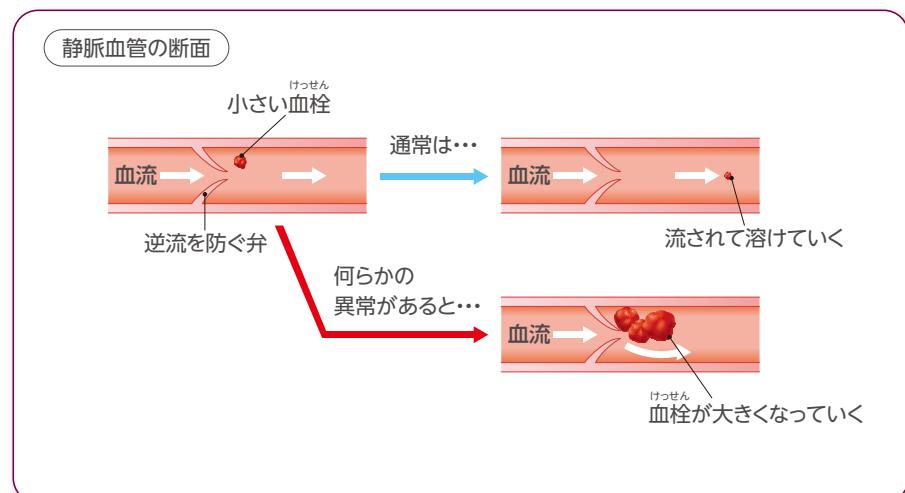
じょうみやくけっせんそくせんしょう エリキュース錠は静脈血栓塞栓症の治療と 再発の予防のお薬です

エリキュース錠(一般名:アピキサバン)には、血液が固まるのを抑えるはたらきがあります。そのため、**血栓**が大きくなるのを防いで血液の流れをよくし、再び**血栓**で血管が詰まるのを予防します。



血液が固まるのを抑えるため、出血したときに止まりにくくなることがあります。エリキュース錠服用時の注意事項は4~7ページをご覧ください。

● 血栓(血の塊)ができるしくみ



エリキュース錠の服用方法

- エリキュース錠は、治療の時期によって飲む量が異なります。必ず主治医・薬剤師の指示に従ってお薬を服用してください。

治療の時期	1回量	1日の服用回数
最初の1週間(7日間)	10mg	2回 (朝・晩)
8日目以降	5mg	

- 服用する直前にPTPシートから取り出して、水またはぬるま湯で服用してください。
- 食前・食後のどちらの服用も可能です。時間を決めて、毎日同じ時間帯に服用しましょう。
- 服用に伴う食事の制限は特にありません(高血圧や糖尿病の治療のための食事制限は守ってください)。



1日2回(朝・晩)

食前 または 食後

飲み忘れたときの対応法

気づいたときにすぐに1回量を服用し、その後通常どおり1日2回服用してください。飲み忘れた場合でも、1度に2回分の量をまとめて服用しないでください。また、錠数や回数を多く飲みすぎた場合は、主治医にご相談ください。



エリキュース錠の副作用



エリキュース錠の服用中は、出血したときに血が止まりにくくなっています。頭蓋骨の内部の出血や消化管の出血など重大な出血が起こることがあります。以下のような症状が現れた場合には、すぐに主治医に連絡してください。



はげしい頭痛、マビ、
ろれつが回らない

かっけつ
喀血・吐血
※
(血を吐く)

血尿や血便
(黒色便、赤い鮮血便)

※喀血:呼吸器からの出血で、せきとともに吐き出される。
吐血:消化管からの出血で、嘔吐物に混じっている。

出血したときは、主治医に連絡してください。

■家庭でできる応急処置

鼻血のとき



けがや打撲で
出血したとき



前かがみの姿勢で、鼻を強くつまんで、しっかりと押さえ続けます。脱脂綿やティッシュを鼻に詰めるとよいでしょう。

きれいなガーゼやハンカチなどを出血部位に当てて、手でしっかりと圧迫して、止血します。



エリキュース錠の服用中は、間質性肺疾患が現れることがあります。以下のような症状がみられた場合は、すぐに医師に相談してください。

から咳
呼吸困難
血の混じった痰



発熱



この他にも気になる症状が現れた場合は、医師または薬剤師にご相談ください。

歯ぐきからの出血



鼻血



ひかしゅつけつ
皮下出血
(あおあざができるやすい)



エリキュース錠服用中の注意事項

- **歯の治療・手術・内視鏡検査**を受ける予定があるときは、事前に主治医に相談しましょう。

- ▶ 大きな手術の前には、エリキュース錠を中止しておく必要があります。また、服用の再開についても確認しておいてください。



- **他院や他科を受診**するときは、エリキュース錠を服用していることを医師にお伝えください。

- ▶ 安全に治療を行ううえで大切な情報です。
- ▶ 妊娠を希望する場合や妊娠に気づいた場合は、すぐに医師へご相談ください。



- **他の薬を処方**されるときや薬局などで**他の薬を購入**するときは、エリキュース錠を服用していることを医師や薬剤師にお伝えください。

- ▶ エリキュース錠には併用を注意すべき薬があります。



いつまでお薬を飲み続ける必要があるの？

服用期間は患者さんによってさまざまです。
主治医の判断に従って服用してください。

一度、静脈血栓塞栓症を起こした患者さんは、再発の可能性があります。
深部静脈血栓症または肺血栓塞栓症で6～12ヵ月間治療した後、予防のための薬を飲まなかった人たちのうち、その後1年間で約10人に1人が再発したという報告¹⁾もあります。

再発の可能性は起こしたときの原因や重症度によってさまざまですが、必ず主治医の判断に従って服用を続け、自分の判断で服用をやめたり、服用回数を減らしたりしないでください。

1) Agnelli G et al.: N Engl J Med 368: 699, 2013

禁止 絶対にしないでください

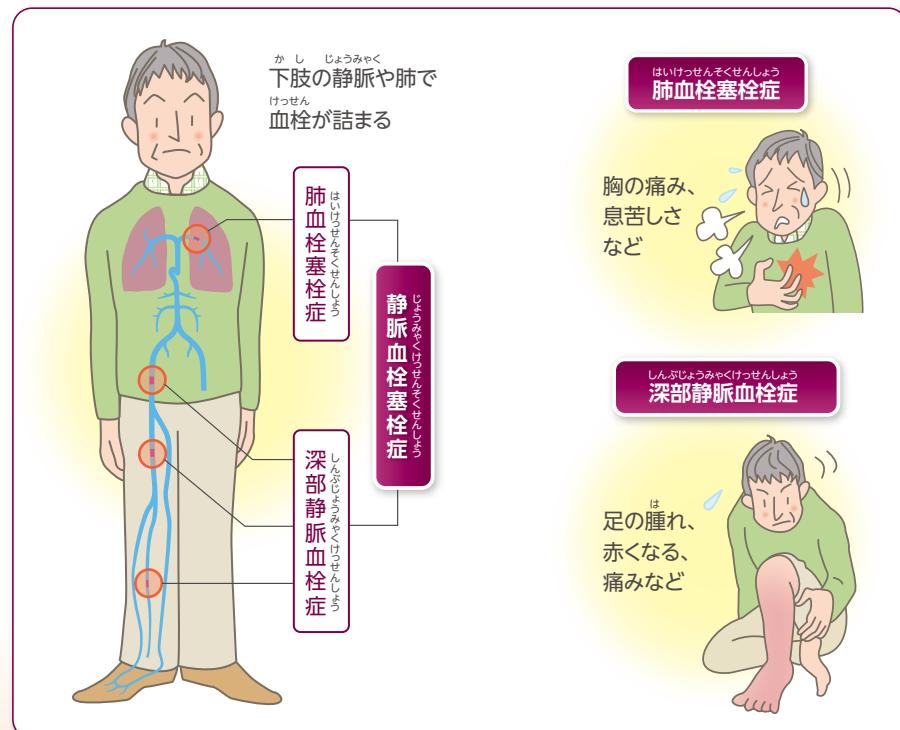
自分の判断で、**服用をやめること**
服用回数を減らすこと

静脈血栓塞栓症ってなに？

静脈血栓塞栓症は、足から心臓へと血液を戻す血管(静脈)に血のかたまり(血栓)ができ、血管を塞いでしまう病気です。

太ももやふくらはぎ(下肢)の表面の静脈に血栓ができるても大きな問題にはなりませんが、深部の太い静脈に血栓ができると重症となり、できた血栓が心臓や肺に流されて、肺の血管に詰まった場合は命の危険につながることもあります。下肢の深部の静脈に血栓ができる病気を「深部静脈血栓症」、血栓が下肢から流されて肺に詰まる病気を「肺血栓塞栓症」と呼びます。関連した病気なので、この2つを合わせて「静脈血栓塞栓症」といいます。

深部静脈血栓症では、太ももやふくらはぎ全体が赤黒く腫れたり痛んだりします。また、肺血栓塞栓症では、胸の痛みや息苦しさを感じます。



どうして静脈に血栓ができるのか？

通常、血管の中で血液は固まらないようになっており、万が一、小さな血栓ができても、身体には自力で血栓を溶かす機能も備わっています。何らかの原因でこれらの機能が低下すると、血栓ができるままとなり血管が詰まる原因になります。最近手術を受けた方、ガンにかかっている方、避妊薬などホルモン剤を飲んでいる方、寝たきりの方、長時間の旅行をされた方、生まれつき血栓ができやすい体質の方、これまでにも深部静脈血栓症を起こしたことのある方などは静脈血栓塞栓症になりやすいことが知られています。はっきりした原因が分からぬことも少なくありません。

● 血栓ができるやすい状態



MEMO